

ルーマンの代表的著作シリーズ

		社会学的啓蒙	社会の理論	近現代社会の知識社会学のための研究	[その他]
	1958				「行政学における機能概念」
ゴフマン『日常生活における自己呈示』	1959				
ハーバード大学行政学大学院奨学生 ベル『イデオロギーの終焉』	1960				「経済的な行政行為は可能か？」
ゴフマン『アサイラム』『出会い』	1961				
シュパイヤー行政専門大学校 研究調査職 H『公共性の構造転換』	1962				「新しい上司」「機能と因果性」「真理とイデオロギー」
ゴフマン『集まりの構造』『ステイグマ』	1963				「比較行政学の展望』『行政の瑕疵と信頼の保護』
	1964				「ルーティン礼讃」「目的-支配-システム」 「機能的方法とシステム論」(以下略) 『公式組織の機能と副作用』
ドルトムント社会調査研究所 ダーレンドルフ『ホモソシオロジクス』	1965				『公法上の補償』『制度としての基本権』
博士論文 B&L『現実の社会的構成』	1966				「反省的メカニズム』『行政における法と自動化』『行政学の理論』
ゴフマン『儀礼としての相互行為』	1967				「社会学的啓蒙」「社会的システム理論としての社会学」「実定法とイデオロギー」
ビーレフェルト大学社会学部教授 H『認識と関心』	1968				「政治システムの社会学」「科学の自己制御」 「全体社会の分析の形式としての現代システム論」(ドイツ社会学学会) 『信頼: 社会的複雑性の縮減メカニズム』 『目的概念とシステム合理性』
エリアス『文明化の過程』独訳	1969				「社会」「理論の実践』『手続による正統化』
	1970	1: 社会的諸システムの理論のための 論文集			
	1971				『政治的プランニング*』 『社会理論か社会学か: システム研究は何を為すのか*』
	1972				『法社会学(2版)』
H『晩期資本制における正統化の諸問題』	1973				
ゴフマン『フレーム分析』	1974				
	1975	2: 社会理論のための論文集			『権力』
	1976				
	1977				『宗教の機能』
	1978				『組織と意思決定*』
	1979				『教育システムにおける反省問題』
H アドルノ賞	1980			社会構造とゼマンティック 1	

		社会学的啓蒙	社会の理論	近現代社会の知識社会学のための研究	[その他]
ゴフマン『トークの形式』 H『コミュニケーション的行為の理論』	1981	3:社会的諸システム		社会構造とゼマンティック 2 福祉国家における政治理論	
	1982			パッションとしての恋愛	
	1983		法の社会学的観察		
	1984		①一般理論要綱		
H『近代の哲学的ディスクール』	1985				
	1986		エコロジーのコミュニケーション		
	1987	4:社会の機能分化のための寄与			
ヘーゲル賞	1988		③社会の経済 [試作品]		
	1989			社会構造とゼマンティック 3	
	1990	5:構成主義的パースペクティヴ	③社会の科学		
	1991			リスクの社会学	
	1992		②社会の理論 [試作品]	近現代の観察	
退職 H『事実性と妥当性』	1993		③社会の法		
	1995	6:社会学と人間	③社会の芸術 マスメディアのリアリティ	社会構造とゼマンティック 4	
	1996		プロテスト:システム理論と社会運動		
[罹患判明]	1997		②社会の社会		
死去	1998				
	2000		③社会の政治 ③社会の宗教		
	2002		③社会の教育システム		
	2008				『観念の進化*』『社会の道徳*』